国語だより その1

相良中学校　国語部

新型コロナウイルスの正式名称を知っていますか。一部週刊誌やネット上ではいまだに「武漢ウイルス」などという残念な表記をしているものがあります。

以前大流行したＭＥＲＳ（マーズ）ウイルスの名前には、発生源と思われる地名が含まれていました。しかし、その表現がその場所に住む人々への攻撃材料になるなど、差別やデマを助長することになったため、あえて地名などは含まないようになったのです。その経緯を知っていれば、「武漢」と冠することがどれだけ危険で、失礼なことかわかると思います。

「言葉」にこだわることは大切です。もちろん「言葉に表せないもの」や「言葉を越えて伝わるもの」はあります。でも、だからといって言葉をないがしろにすることは、多くの問題を引き起こすでしょう。

「言葉」にこだわりたい。「言葉」にこだわる楽しさに気付かせたい。「言葉」にこだわる社会人を育てたい。私たち国語の教師はそんな思いを抱いて、今日も生徒に対しています。

語彙(ごい)を豊かに ～漢字練習の話～

まず次の漢字の読みを考えてみてください。

① 転生　② 治癒　③ 召還　④ 使役

どこまで答えられましたか。「カンタンだよ」という人が多いかも知れませんね。中には中学校で初めて学ぶ（しかもまだ学習していない）漢字もあるのに……。

ゲームやマンガ、ライトノベルなど、皆さんが身近に感じるものの語句は、すんなりと記憶に定着します。その言葉の読み方だけでなく大まかな意味まで理解し、使いこなすことができるでしょう。皆さんのお父さん世代であれば「こぶし」という漢字を書ける人は、ほかの世代より多いはず（格闘マンガブームでしたからね）。

語彙（この場合は言葉の知識）の定着は、その人の興味や関心のありかと深く関わっています。つまり、興味を持たない分野の言葉を理解し使いこなすためには、意識的に学習しなくてはならないということです。

中学校の漢字の課題は「週に３Ｐ提出」です。毎日の提出ではない分、手間ひまをかけた取組をしてほしいと考えています。読めるだけ、書けるだけ、の漢字の書き取りではなく、使いこなせるための「調べ学習」を取り入れてみましょう。

（　漢字の答え　①てんせい　②ちゆ　③しょうかん　④しえき　）